

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

主務教諭配置ではなく「穴あき」解消、教職員増をおこなえ！

府教委

学校に新たな分断を持ち込む「主務教諭」導入を大障教に提示 義務教特別手当を減額し、それを原資に「担任加算」を大障教に提案

10月23日、府教委は大障教・大教組に対して「新たな職の設置について」を提示。「教職員の処遇改善について」を提案しました。「給特法」改正に伴うものですが、その内容は東京などで実施している「主務教諭」設置や、全員の義務教育等教員特別手当を減額した原資で「学級担任加算」を行うものです。これは、学校現場に新たな分断を持ち込み、協力体制を破壊し、教育活動に重大な影響を及ぼすものです。提示と提案内容の概要をお知らせします。

「新たな職の設置について」(提示)

1. 設置する職

主務教諭、主務栄養教諭、主務看護教諭

(1) 職務内容

・学校教育法においては「児童・生徒の教育等をつかさどり、及び命を受けて学校の教育活動に関し教諭その他の職員間における総合的な調整を行う」と示されている。

・校務分掌におけるとりまとめ役、分掌部の部長、部主事など

・担当業務における実態把握や、課題分析等の実施
・学校経営計画の具体化や現場の提案のとりまとめ
といった「学校横断的な取組への対応や学校内外との連絡調整」

・初任者指導研修における指導教員や教科指導員、「同僚・経験年数の少ない教職員に対する助言や支援」を想定

(2) 選考・任命

・校長、准校長の推薦を受けたもの

・適正評価及び勤務実績をもとに選考、任命

・対象は教諭、養護教諭、栄養教諭

・おおむね30歳以上の中堅層(57歳以下)を想定

教職員の処遇改善について (提案)

○提案事項(要旨)

1. 教職調整額

・現行の4%を2030年度までに10%に段階的に引き上げる
(2024年1月1日)

・指導改善研修被認定者について教職調整額を支給しない。

・教職調整額が支給されない管理職については、3級(教頭)は加算引き上げ、4級(校長)は新たに加算額を設ける。

2. 義務教育等教員特別手当

・支給額を改正(現行の支給額を1/3削減)

・学級担任には月額3000円加算

・校務分掌によつて「担任」と明示されているもの

・支援学級および支援学校においても加算対象

3. 教員特殊業務手当

・学校の管理下において行う非常災害時の緊急の業務で以下に掲げるものについて、週休日等に当該業務を4時間以上行った場合は8000円を支給(週休日以外は従来通り)

1. 非常災害時における児童もしくは生徒の保護又は緊急の

災害への復旧の作業

2. 児童又は生徒の負傷、疾病に伴う緊急の業務

3. 児童又は生徒に対する緊急の補導の業務

○実施時期

2026年1月1日

○組合との協議期限

2025年11月18日

(3) その他

・配置は2027年4月予定

・配置数は導入当初は1/2割程度、将来的には4割程度を想定
・配置については教諭定数内で校長・准校長からの具申に基づき配置

・給与は2級と特2級の間、2級に+6000円程度を人事委員会

で検討

・役職定年した場合、管理職は主務教諭への降格を想定

○意見聴取期間

2025年11月6日

書記局の つうしん

つうしん

10月13日、大阪・関西万博が閉幕しました。その華やかな場の裏で、10の海外パビリオンで工事代金の未払いが発生しています。昼夜を問わず過労死レベルの工事を担い、完成に近づけた中小の下請け業者が数千万円、数億円の未払いを抱えて日々の生活すら困難な状況に置かれています。被害者は、大阪府や国、万博協会に対して問題解決に向けた方策をとるよう訴えてきました。

万博協会副会長でもある吉村知事は、「国民の問題」として立て替え払いや緊急融資も拒否し、何の対応策も取っていません。

未払い被害者のA氏は、国家プロジェクトでこれほど未払いが起きたことはない。府・市や万博協会が公式に協力要請した事業にもかかわらず、未払いが起きると「関係ない」という態度に憤っています。

万博問題の取材を続けているフリージャーナリストの西谷文和氏によると、手口の二つが持ち逃げや偽装倒産。アンゴラ館の場合、アンゴラは工事費を支払いましたが、3次下請けの業者が工事費を持ち逃げ。アメリカ館の場合は2次下請け業者が「偽装倒産」。もう一つがGLEIベンツ・ジャパン社のように、工事結果に注文を付けて支払わない手口。ルーミア館の場合、4億円を下請けに出し、最初に2億円を支払って安心させ、開幕前に急かして、あがった壁の色などに文句をつけ支払わない。同じやり口で4つも被害を引き起こしています。同社は未払いを放置しながら、26年の愛知・名古屋アジア競技大会の53会場設営などを630億円の随意契約で受注しています。大村愛知県知事は契約を履行するとしています。万博の未払い問題を解決しなければ、また同じ問題が起るのではないのでしょうか。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス: fushoukyou1@mtb.biglobe.ne.jp

府人事委員会勧告（抜粋）

全教職員一律6500円以上 +地域手当1%引き上げ 組合が引き出した全世代の賃上げ勧告！

1. 月例給

民間給与との較差12,636円を解消するため次のとおり改定

(1) 行政職給料表 近年の物価上昇等の状況を踏まえ全職員を対象に改定を実施

①人材獲得競争の観点から、大阪市域に在勤する国家公務員一般職の初任給を目安に、以下のとおり引上げ

○大卒：11,000円 [改定率：4.8%]

○高卒：11,200円 [改定率：5.8%]

②若年層に重点を置きつつ、全職員の給料月額を引上げ（平均改定率2.54%）

③おおよそ40歳台後半の職員が在職する号給以降は、一律6,500円引上げ

(2) 地域手当

国における地域手当の見直しを踏まえ、府内の地域手当の支給割合を4月遡及して引上げ（11.8%→12.8%）

(3) その他の給料表は、行政職給料表との均衡を基本に改定

2. 特別給（ボーナス）

民間の支給状況等を踏まえ、期末手当及び勤勉手当の支給月数を4月に遡及して0.05月分引上げ

3. その他

①1か月あたり5000円を上限とする駐車場等の利用に対する通勤手当を新設

②宿直勤務または日直勤務1回に係る支給額を引き上げ

(通常6700円→6900円)

楽しい学校、わかる授業の創造をみんなの力で

教育のつどい大阪2025・中河内ブロック集会はじまる

教育のつどい大阪2025中河内ブロック集会の全体会が10月11日、八尾市文化会館・プリズムホールで開催され、教職員・保護者・市民ら約200人がつどいしました。全体会の現地企画では、現地実行委員会に参加する教職員・保護者・学生・市民が、学校の日常を描いた寸劇、エイサー踊りを披露し、リレートークで保護者・教職員の思いを発表しました。また、哲学者・作家の永井玲衣さんが、「『大丈夫だと思える場』を育てる『対話を通して見えてくる世界』」と題して、記念講演を行いました。

競争でなく学ぶ喜びを子どもたちに

山地麻衣・大教組教文部長が基調報告を行い、大阪の子どもと教育をめぐる現状について報告。「いま、子どもたちは幸せでしょうか」と問いかけた山地さんは、極限をこえたつめこみ

教育と財界が求める人材づくりがおしすすめられるも、子どもたちは生きづらさを抱えこみ、その結果、不登校は過去最多の34万人になったと告発。憲法と子どもの権利条約にもとづく教育を推進するとともに、学習指導要領の抜本的な見直しの必要性を力説しました。こうした教育の現状をふまえ、山地さんは今年度のつどいの討議の柱として、「競争でなく学びあえる喜びを大切に教育」「子どものリアルな実態により



ワークショップで対話の
実践を行なう参加者

「競争でなく学びあえる喜びを大切に教育」「子どものリアルな実態により、そうした教育」などを提起し、全体会・分科会を通してともに考えあおうと呼びかけました。

現地実行委員会を構成する団体のなかから、東大阪の障がい児教育をよくする会がリレートークに参加し、八尾支援学校の「過大・過密」と教室不足を解消するため、「東大阪市に知的障がい支援学校の新設を求め

「ハラスメント根絶」にむけて、積極的に意見を寄せよう



「職場における教職員間のハラスメントに係る実態把握アンケート」について、府教委より大障教に対して情報提供がありました。

大障教は、6月に府立支援学校の管理職「パワハラ」処分に関する要望書を府教委に提出し、再発防止の具体化を求めました。府教委は「要望を重く受け止める」と回答したにもかかわらず、今回のアンケートにおいて管理職からのハラスメント実態を把握する項目を設定していないことは看過できません。しかし、内容については不十分なものはありますが、「ハラスメント根絶」をめざす大障教の方針と合致する点があることを踏まえ、組合員のみなさんにはハラスメントに係る意見やリアルな実態を寄せるためにも本アンケートへの積極的な回答を呼びかけます。

教科別・問題別分科会で学びあおう

全体会に続いて、11月9日に教科別分科会（会場：東大阪市立楠根東小）、22日に問題別分科会（会場：東大阪市立盾津東中）が開

催されます。府立支援学校の職場から、美術教育分科会に浅野雄大さん（思斉）、音楽教育分科会に前田綾さん（生野聴覚）、障害児教

育分科会に奥正行さん（思斉）がレポート報告を行います。分科会に積極的に参加し、子どもと教育をとものに語りあいましょう。